

## 刊行にあたって

編集委員長

松井 望

せたがや自治政策研究所の活動の一環として、2008 年度より刊行しております学術機関誌『都市社会研究』もおかげさまで第 17 号を刊行することとなりました。特集に寄稿していただいた先生方をはじめとして、論文、研究ノート、活動報告に投稿いただいた皆様のお陰によるものと存じます。また、編集にご協力いただいた編集委員会の委員や査読を担当された方々、編集委員会をサポートしていただいている事務局にも、心より厚く御礼申し上げます。

本誌刊行の目的は、一つには学術研究の発表・発信、またそれを基礎とする政策形成の基盤づくりにあります。いま一つの目的は、実践的な内容を持ち、公共の利益に資するような研究の発表・発信の場とすることです。従来の学術研究誌にはみられない実践的かつ公共的な性格を併せ持つ、地域発の学術機関誌をめざして発刊したものです。

本号の特集テーマは「シビックプライドとまちづくり」としています。

昨今、様々な地域・自治体の現場において多様な背景を持つ人々が「住まう」だけでなく「働く」「学ぶ」「活動に参加する」など様々なかたちでまちと関係を持つ機会を提供することによりシビックプライドを醸成し育む取組みが行われています。

世田谷区においては都内最大の人口を有する自治体である一方、出生数も減少傾向が続く、子育て世代を中心とした若者の流動性が高い特徴が顕著にみられます。このような人口動向の中で「せたがやのまち」の持続可能を考えると、人々が楽しみながら「このまちに関わり続けたい」「住み続けたい」「まちをもっと良くしたい」と思えるまちづくりを続けていくことが重要であろうという想いから、本テーマを設定しました。

研究者や専門家、自治体職員の方々はもちろんのこと、多くの世田谷区民の方々に本誌を手にとっていただきたいと願っております。さらに、都市社会を研究対象とする全国の若手研究者が投稿論文の本誌への掲載を名誉と考えるような機関誌に育っていくよう願っています。

最後に、今後とも投稿者、読者の方々をはじめ、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。第 17 号刊行のご挨拶とさせていただきます。